

## JENESYS 2. 0

### ソーシャルコミュニティ第 20 陣

(テーマ：看護医学・若手ボランティア) (対象国：ブルネイ)

#### 1. プログラム概要

9月25日から10月2日まで、JENESYS2.0の一環として、ブルネイから学生25名が来日しました。一行は、東京でオリエンテーションを行い、浅草、原宿、お台場、パナソニックセンター等の視察を通して日本文化や先端技術への理解を深めました。その後、2グループに分かれ、新潟県及び岩手県を訪問しました。各地では、それぞれ看護医学やボランティアに関連する施設を訪問し、学生や地域の人々と交流する機会を持つほか、ホームステイを体験し、日本の生活や文化への理解を深めました。

#### 2. 参加国・人数

ブルネイ・ダルサラーム国

看護医学グループ：大学生 15 名

若手ボランティアグループ：高校生 10 名

#### 3. 訪問地

東京都（全員）

新潟県（看護医学グループ）

岩手県（若手ボランティアグループ）

#### 4. 看護医学グループ、若手ボランティアグループ（第 20 陣）目的

今回の交流事業を通じ、ブルネイと日本の青少年の間の相互理解が促進されるとともに、ブルネイの青少年が我が国の魅力や日本的な価値に対する理解と関心を高め、一人一人が日本の魅力の積極的な発信者となることが期待されます。

## 5. 日程

9月25日(木)

入国、来日オリエンテーション  
パナソニックセンター等視察

9月26日(金)

浅草、日本訪問看護財団視察(看護医学グループ)  
江戸東京博物館、原宿、東京タワー視察(若手ボランティアグループ)

9月27日(土)～29日(月): グループに分かれ地方訪問

**看護医学グループ : 新潟県**

9月27日(土)～28日(日)

ホームステイ

9月29日(月)

新潟医療福祉大学訪問

**若手ボランティアグループ : 岩手県**

9月27日(土)

日本舞踊サークル訪問

9月28日(日)

高齢者施設、遠野馬の里訪問、ホームステイ

9月29日(月)

大槌町・津波被害地域視察、地域の子どもたちと交流、ホームステイ

9月30日(火)

都内へ移動

お台場視察(看護医学グループ)

浅草視察(若手ボランティアグループ)

10月1日(水)

報告会(訪日成果、帰国後活動計画発表)

10月2日(木)

出国

## 6. 写真

### 6-1. 共通プログラム (オリエンテーション、パナソニックセンター視察、報告会)

|  |   |
|--|---|
|   |   |
| 9月25日 オリエンテーション  | 9月25日 パナソニックセンター(看護医学グループ)  |
| September 25, Orientation  | September 25, Panasonic Center  |
|  |  |
| 9月25日 パナソニックセンター(若手ボランティアグループ)   | 10月1日 報告会(訪日成果、帰国後活動計画発表)   |
| September 25, Panasonic Center   | October 1, Reporting Session  |

6-2. 看護医学グループ

|   |  |
|---|--|
|    |    |
| <p>9月26日 浅草視察</p>   | <p>9月26日 日本訪問看護財団</p>  |
| <p>September 26, Visiting Asakusa</p>   | <p>September 26, Japan Visiting Nursing System Foundation</p>                        |
|   |   |
| <p>9月26日 日本食体験 / お好み焼き</p>  | <p>9月28日 ホームステイ お別れ</p>  |
| <p>September 26, Japanese Food / Okonomiyaki</p>                                    | <p>September 28, Farewell to Host family</p>   |
|  |  |
| <p>9月29日 学校交流：新潟医療福祉大学</p>  | <p>9月29日 学校交流：新潟医療福祉大学</p>   |
| <p>September 29, Nigata University of Health and Welfare</p>                        | <p>September 29, Nigata University of Health and Welfare</p>                         |

6-3. 若手ボランティアグループ

|   |  |
|---|--|
|    |    |
| <p>9月26日 江戸東京博物館</p>  | <p>9月27日 日本舞踊サークル訪問</p>  |
| <p>September 26, Edo Tokyo Museum</p>   | <p>September 27, Visiting Japanese Dancing Group</p>                                 |
|   |   |
| <p>9月28日 高齢者施設訪問</p>  | <p>9月29日 東日本大震災被災地訪問</p>   |
| <p>September 28, Visiting Nursing Home</p>  | <p>September 29, Visiting Tsunami Affected Area</p>                                  |
|  |  |
| <p>9月30日 ホストファミリーとお別れ</p>   | <p>10月1日 浅草散策</p>  |
| <p>September 30, Farewell to Host Family</p>  | <p>October 1, Visiting Asakusa</p>   |

## 7. 参加者の感想（抜粋）

新潟のホームステイで、ホストファミリーが生ごみをコンポストに入れて畑の肥料にして活用していることが印象的でした。また、湖の水を灌漑水として田んぼに使用しており、リサイクルが生活に定着していました。日本では患者が自分のかかりたい病院を選べる権利があることは、とてもよいことだと思いました。日本の公衆衛生にも感心しました。どこに行ってもトイレが清潔で床などが乾いている状態に保たれていて、老人や障害者に対しても使いやすいような作りになっていました。また、日本人は非常に規律を守り他者に対する思いやりが強いと感じました。国に戻ったら、これらのことを日本の素晴らしい部分として友人や家族に伝えたいと思います。

（看護医学グループ）

このプログラムの全てが楽しく、充実していました。私があこがれていた国で、とても素晴らしい経験をすることができました。ホームステイは忘れがたい体験になりました。新潟の人々と一緒に食事をしたり、踊ったり、おしゃべりをして生活を共有できたことがとてもよかったです。医療制度についても、日本は先進国で学ぶことが多く、是非クラスメートに伝えたいと思います。先端技術に加えて、伝統文化を長い間保ち続けてきたことが「クールジャパン」だと思いました。

（看護医学グループ）

一番印象的だったのは、ホームステイで日本の生活様式と文化を体験したことです。人々はとても礼儀正しく、規則を守る習慣を身に付けていました。清潔で家の中もトイレをはじめ衛生的に保たれており、感染症の予防の面からも非常に感心しました。ホストファミリーと一緒に温泉に入ったり、浴衣を着たりして日本の伝統文化を体験することができました。日本の文化は美しく本当に素晴らしいと思います。

（看護医学グループ）

私は、津波がどれだけ壊滅的であったか、ボランティアセンターがどのように被災者を助けたか、人々はどのようにして生き残ったか、停電のために差し迫る津波にもかかわらず警報が鳴らなかったこと、村役場がなぜモニュメントして残されることになったか、なぜ地元の人々がランドマークとして残す、残さないについて討論を行ったのか、など、多くのことについて知ることができました。これらのことを含め、津波の被害を受けた大槌町のことについてブルネイの友達に伝えたいです。

（若手ボランティアグループ）

最も印象に残った体験は津波の被災地を訪問したことです。心に深い傷を負いながらも地域を再生し、今もなお住みたいという大槌町の人々に感動しました。また、短い期間でしたがホストファミリーと過ごした経験もとても印象的でした。ホストファミリー

と生活することで、私たちと大きな違いを感じることはありませんでした。友人や家族に日本での素晴らしい経験、興味深い場所などを伝え、日本へ訪れることを勧めたいと思います。

(若手ボランティアグループ)

私は、日本人の礼儀正しさと多くの礼儀作法に感動しました。例えば、食事の前には「いただきます」ということです。また、津波の被災地を訪れた時のこと、岩手・遠野のホストファミリーと過ごした経験について、帰国後友人や家族に伝えたいと思います。

(若手ボランティアグループ)

(了)